

アマビエ

ぬりえ



浜川市立図書館

浜川市立図書館アマビエぬりえについて

① アマビエとは？

江戸時代に熊本の海に現れ、疫病が流行した際には自身の姿を描き写すように告げた妖怪…というより神に近い予言獣？です。原典は幕末に作られた刷物で、京都大学附属図書館が所蔵しています。

② なぜ今、アマビエなの？

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、鎮静化を願う人々が、この伝説にあやかりと SNS 上にオリジナルのアマビエの絵や工芸品を紹介することがブームになっています。

③ 浜川市立図書館のアマビエって、誰が描いたの？

上記②のブームに便乗しようとした当館の広報担当が描いたアマビエの絵が、「一般公開するにはあまりにも無惨」だったため、見かねた画力のある職員が、原典を元に描き起こしました。

④ なんで「ぬりえ」にしたの？

完成したアマビエが評判が良かったから、というのがありますが、なにより自宅警備中の皆さん、特にお子さんたちの息抜きになればいいなあ、と思ったからです。

⑤ このアマビエぬりえをすれば、新型コロナウイルスに感染しませんか？

当館のアマビエに神通力が宿るのは、**手洗い・うがい**を徹底した場合のみ、となっております。

また、当館のアマビエは、**密閉・密集・密接**、つまり**「3密」**の場所を特に嫌う性質があります。そのため、4月以降、当館も映画会やおはなし会等を中止し、換気に努め、**「手洗い、うがい、おまじない」**を合言葉に、アマビエのご機嫌を取っている状態です。1人でも破る人がいれば、アマビエの神通力は発揮されません。

⑥ ぬりえしたら、SNS に公開してもいいですか？

ぜひとも公開してください。その際、**#浜川市立図書館ハッシュタグ**を併記して頂けると、当館アマビエも絵師も、画力無惨な広報担当も喜びます。

以上、ご理解の上、楽しくぬりえしてください。

浜川市立図書館